

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	◆C-4-8-1
事業名	被災地域農業復興総合支援事業（農業用施設整備等）
事業費	総額 40,937 千円（国費：32,749 千円） （内訳：工事費 40,937 千円）
事業期間	平成 25 年 6 月～平成 26 年 8 月
事業目的・事業地区	<p>震災により個人所有の乾燥調製施設が被災し資金的に多額の費用がかかるため再建が出来ない状況である。</p> <p>このため本事業により乾燥調製施設の整備を行うことで優良農地を有効活用した生産性向上、意欲ある農家の担い手の経営再建、新たな雇用の場、地域の特性を利用した特産品の付加価値化により村復興計画の実現を目指す。</p>
事業結果	<p>【平成 25 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乾燥調製施設用地造成工事（A=0.59ha） <p>【平成 26 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乾燥調製施設駐車場舗装工事（A=3,360 m²） （施設予定地整備前）
	  <p>（整備後）</p>  
事業の実績に関する評価	<p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価</p> <p>施設用地については、施設への荷受け及び大型自動車による玄米の出荷、もみ殻の排出・運搬、施設利用者の駐車場所、冬期間の積雪、屋根落雪からの除雪などを考慮</p>

したため、施設周りを周回できるよう考慮した。結果的に施設周りに余裕ができ、施設利用者が混雑や事故等を起こすことがなく、施設を有効的に活用できており事業規模は適切であったと考える。

② コストに関する調査・分析・評価

整備箇所については、高低差の少ない箇所を選定した。また、用地造成及び舗装工事ともに入札による建設工事請負契約を締結しており事業費は適切と考える。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

施設の建設場所については、平成 24 年度中に地元集落及び地権者による説明会を実施し、施設に関してのイメージ及び必要な土地の広さ、次年度春から土地造成を行いたい旨の説明を行い、速やかに事業が実施できるよう進めたため、事業期間については土地造成、施設建設、舗装工事までスムーズに実施できたため、手法は適切であったと考える。

また、事業期間について予定通り進めることができた。

事業担当部局

栄村役場 農政課 農村振興係 電話：0269-87-3113